

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R7年 12月 20日

配布数 40世帯 / 回収 30世帯

事業所名: 新居浜ルーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	4	4		27	1	1	1	必要に応じてスペースを確保して参ります。
	2 職員の適切な配置	4	3	1	23		1	6	県の指定基準に適合させております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	7	1		27			2	引き続き、特性に応じた設備整備を行って参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	1		26	2		2	清潔で心地よく過ごせる環境づくりと、活動に合わせた空間の確保に努めて参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	1	6	1					今後も継続して参ります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	4						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8							今後も、研修・訓練に積極的に参加して参ります。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8			28		1	1	R7.2月HPにて公表しております。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	1		29	1			引き続き、児童発達管理責任者を中心に適切な支援計画を立てて参ります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7			30				具体的な支援内容が設定されています。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	1						今度も継続して参ります。
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8			29		1		今後も、支援計画に基づき適切な支援を行って参ります。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	5	2	1					事業所全体で立案しております。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	8			25	2		3	季節行事など様々な経験・体験が出来るように計画・工夫をして参ります。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	1						児童の成長を促す働きかけと、v楽しみながら参加できる活動を計画・実施して参ります。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	1	6	1					支援に対する共通理解を深め、情報共有と周知の充実を図って参ります。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3	4	1					必要な情報を全職員が把握できるよう取り組んで参ります。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8							引き続き、徹底して参ります。
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8							定期的なモニタリングや保護者様のご意見を踏まえ、必要であれば支援内容の見直しを行って参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	7	1		児童発達管理責任者が参加しております。					今後も、児童発達管理責任者が参加させていただきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	3		支援会議等で情報共有を行っております。					支援会議への参加や電話での連絡を通して、円滑な情報共有に努めて参ります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	2		移行の際は、児童発達支援管理責任者より情報共有させていただいております。					今後も必要に応じて対応して参ります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	5		必要に応じて職員が研修に参加し、支援内容の向上に努めております。					定期的な放デイ会や研修に参加し、関係機関との連携を深めて参ります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	4	1	2		15	1	4	11	子ども同士が交流を持てるイベントを検討して参ります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	6	2		福祉フェスティバルへの参加やeスポーツ大会を開催しました。					今後も、地域とのつながりを深める取り組みを検討して参ります。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	1		管理者、児童発達管理責任者、専門実施者より説明を行っております。	29	1			今後も継続して参ります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8			管理者、児童発達管理責任者、専門実施者より説明を行っております。	30				今後も継続して参ります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	1	5	1		17	4	3	6	希望される保護者様には、面談時にお話を伺えるように取り組んで参ります。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8			送迎での対応時、連絡帳、LINEにて共通理解に繋げています。	28		2		連絡ツールにて、利用した日は支援内容(様子)を伝えてくれる。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	1		保護者からの相談は随時受け付けており、電話やLINE、連絡帳などで対応しております。	24	4	1	1	適切な助言が行えるよう努めて参ります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	3	3	1	R7.3月に、保護参観日を開催しました。	13	7	4	6	定期的な参観日を実施できるよう準備を進めるとともに、保護者間の交流の場を検討して参ります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			速やかに対応し、再発防止に努めております。	19	1	1	8	迅速な対応を行うよう努めて参ります。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7	1		プログラムや要求伝達等に絵カード等を用いて意思疎通の工夫をしております。	28	1	1		特性に寄り添いながら、配慮あるコミュニケーションを心掛けて参ります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8			ひらり通信、SNS、予定表により活動の様子やお知らせを発信しております。	26	1	1	2	定期的なひらり通信の発行やSNSにて様子を知っていただけるよう情報提供に努めます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	7	1		職員間でも注意深く取り扱っております。	28	1		1	引き続き、書類やデータ保管には十分に気をつけて参ります。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	1		各種マニュアルは誰でも閲覧可能になっております。	21	3	1	5	防災マニュアルについては、知らない。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			規定に添い、年2回の防災避難訓練を実施しております。避難訓練に加え心肺蘇生、体験訓練等を行っており、非常時に備えております。	18	2		10	非常時には、訓練が活かせるよう日頃から準備に努めて参ります。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	6	1		契約時に持病やアレルギーなどの健康状態を確認しております。					必要時には、適切に対応して参ります。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3	4		現在、指示書がある児童はおりません。					今後、必要に応じて対応して参ります。
	5	安全管理の徹底	8			改善が必要な場合はマニュアルを見直し周知し、スムーズに行動できるようにしております。	23			7	引き続き、防災・事故防止委員会の決定内容に従い管理して参ります。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	6	2		避難訓練等の実施の際は、連絡帳などでお知らせしております。	22	2		6	安全計画に添い、訓練を行い報告させていただきます。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8			発生時より迅速に記録し、職員間で共有しております。					管理者会にて事例報告を行い、他ルームを情報共有し再発に努めて参ります。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8			必須研修として取り組んでいます。					虐待防止委員会にて、研修やチェックリスト確認を継続して参ります。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	3		身体拘束時の必要手続きは理解しております。					現段階での事例はありませんが、必要時には指針を基に対応して参ります。